

平野 区

目標	まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合
割合	72.1%

※割合を算出するにあたり、無回答数は回答数から除いています。

構成団体数	340
回答団体数	164
回答率	回答率を確認してください 48.2

問1 (全般的に)まちづくりセンター等の支援について満足していますか。(○印は1つ)

	①満足している		②ある程度満足している		③あまり満足していない		④満足していない		無回答		合計	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
回答	31	18.9%	70	42.7%	31	18.9%	8	4.9%	24	14.6%	164	100.0%

問2 (個別に)まちづくりセンター等からの次の支援は地域の皆さんの活動に役立ちましたか。

(○印はそれぞれの項目で1つずつ)

また今後、まちづくりセンター等に対して、どのような支援を期待されていますか。

(○印はいくつの項目でも)

支援の内容	役に立ちましたか										期待している		役に立つ	
	①そう思う		②ややそう思う		③あまりそう思わない		④思わない		無回答		○印		合計	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	実数	割合(%)
1 地域活動協議会の形成に向けた支援	25	15.2%	59	36.0%	37	22.6%	6	3.7%	37	22.6%	9	7.1%	84	66.1%
2 地域活動協議会の意義の理解に向けた支援	33	20.1%	60	36.6%	27	16.5%	5	3.0%	39	23.8%	13	10.4%	93	74.4%
3 地域の課題やニーズの把握や共有に向けた支援	23	14.0%	55	33.5%	38	23.2%	7	4.3%	41	25.0%	21	17.1%	78	63.4%
4 地域課題やニーズに対応した活動の実施に向けた支援	30	18.3%	57	34.8%	30	18.3%	5	3.0%	42	25.6%	19	15.6%	87	71.3%
5 地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報)の有効な活用の支援	24	14.6%	53	32.3%	35	21.3%	8	4.9%	44	26.8%	24	20.0%	77	64.2%
6 法人格の取得に向けた支援	7	4.3%	24	14.6%	65	39.6%	21	12.8%	47	28.7%	4	3.4%	31	26.5%
7 地域活動に関わりが薄かった住民などの活動への参加を促すための支援	39	23.8%	51	31.1%	24	14.6%	12	7.3%	38	23.2%	29	23.0%	90	71.4%
8 地域活動協議会の構成団体同士の連携・協働の支援	20	12.2%	47	28.7%	45	27.4%	9	5.5%	43	26.2%	16	13.2%	67	55.4%
9 地域活動の担い手の拡大に向けた支援	26	15.9%	49	29.9%	39	23.8%	8	4.9%	42	25.6%	20	16.4%	75	61.5%
10 地域活動協議会以外の他の活動主体との連携・協働に向けた支援	11	6.7%	41	25.0%	52	31.7%	16	9.8%	44	26.8%	11	9.2%	52	43.3%
11 地域公共人材の活用に向けた支援	14	8.5%	43	26.2%	50	30.5%	12	7.3%	45	27.4%	9	7.6%	57	47.9%
12 適正な運営に向けた支援	29	17.7%	51	31.1%	30	18.3%	11	6.7%	43	26.2%	7	5.8%	80	66.1%
13 会計事務の適正な執行に向けた支援	41	25.0%	48	29.3%	25	15.2%	6	3.7%	44	26.8%	17	14.2%	89	74.2%
14 広報の支援	26	15.9%	64	39.0%	26	15.9%	7	4.3%	41	25.0%	24	19.5%	90	73.2%

問3 まちづくりセンターの支援により、さまざまな市民活動団体が集まって、地域の活動や地域課題について話し合うことが活発になっていると思いますか。(○印は1つ)

	①そう思う		②ややそう思う		③あまりそう思わない		④思わない		無回答		合計	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	実数	割合(%)
回答	23	14.0%	70	42.7%	42	25.6%	21	12.8%	8	4.9%	164	100%

問4 皆さんの地域において、自律的な地域運営に取り組めるようになってきていると思いますか。(○印は1つ)

	①そう思う		②ややそう思う		③あまりそう思わない		④思わない		無回答		合計	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	実数	割合(%)
回答	33	20.1%	60	36.6%	44	26.8%	20	12.2%	7	4.3%	164	100%

(問4で「①そう思う」「②ややそう思う」と答えられた方へ)

問5 どのような点から、自律的な地域運営に取り組んでいると思いますか(○印はいくつでも)

	○印	
	回答数	割合(%)
1 地域の課題やニーズの把握や共有ができています。	53	57.0%
2 地域課題ニーズに対応した活動が実施できています。	55	59.1%
3 地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報)を有効に活用して、地域課題の解決が図られています。	45	48.4%
4 法人格の取得に向けた取組ができています。	5	5.4%
5 これまで地域活動に関わりの薄かった住民などの活動への参加が促進されています。	38	40.9%
6 地域活動協議会の構成団体同士の連携・協働ができています。	60	64.5%
7 地域活動の担い手が拡大しています。	22	23.7%
8 地域活動協議会以外の他の活動主体(企業やNPOなど)との連携・協働ができています。	17	18.3%
9 地域公共人材の活用ができています。	14	15.1%
10 議決機関(総会・運営委員会等)の運営など、適正な運営ができています。	53	57.0%
11 会計事務の適正な執行ができています。	62	66.7%
12 多様な媒体による広報活動ができています。	28	30.1%
13 その他	4	4.3%
全回答数	456	490%

問6 今後も、まちづくりセンターのような総合的・全般的な支援窓口(そこに行けば何でも相談できる窓口)が必要だと思いますか。(○印は1つ)

問2の支援内容などについて

	①必要		②支援窓口があればよい		③必要無い		無回答		合計	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	実数	割合(%)
回答	113	68.9%	39	23.8%	1	0.6%	11	6.7%	164	100%

(主な内容)

- まちづくりセンターが何をしているのか全然知らないが、地活協のメンバーが少なく高齢化しているので、支援が必要と思う。
- 各種団体の事務局をなくしたのも橋下。
- まちづくりセンターの知名度アップを図ることが先決だと思う。
- 私が地域で関わっていないため、「わからない」という回答が正しいと思う。地域広報誌を作るにあたり、2018年はまちセンの皆様で大変お世話になった。技術的にも、他地域の情報や状況なども、様々なことを教えてもらった。2019年度も我々が立ち立つにはまだ困難なので、引き続き力を貸して頂きたい。
- 支援員には、“人生を楽しむ”であるとか、“熱意”であるとか、とても私自身の参考になる姿勢を見せて頂き、感謝している。今後もこのような楽しく熱い方が私どもの地域を支援していただければ嬉しいと思う。
- 地域活動協議会の廃止もしくは補助金を連合町会へ交付する形に戻してほしい。
- 主に連合町会(町会等)の支援及び地域課題に対しての連携が強く他団体に対しての連携が感じられない。
- 区はよく動いてくれるが、大阪市の顔が見えない。地域まかせ。
- 色々な企画に取り組む姿勢がみられる。
- 地活協のまちづくりなどには参加させていただいているが、支援についてはどのような形態になっているのか把握しておらず、アンケートに意見を…役に立つような回答にはなっていないと思う。依頼先を考えていただきたい。
- 9はトップ(主要団体)間のコミュニケーションが最悪の状態が6ヶ月。これが一番急ぐ仕事だが遅い。町会がない地域、非連合の自治会が地活協のメンバーとなり、自由な討議ができるように民意を実現する活動にまちセンのノウハウを発揮してほしい。
- 地活の活動の目標が見えない。
- 地活協と連合町会の会長が別々ではうまくいかない。
- 広報活動ができていないように思う。
- 町会に加盟していない所への働きかけを強化してほしい。
- 地活協のインフラが不十分で総合力、民意を反映する体制が整っていない。参加・加入団体・個人の自由な発言、ダイバーシティ下での一つの方向、意思統一が緊急課題。連合町会、民生、若手のPTA、青指らとのコミュニケーション、意見交換をアドバイスし、実現が非常に遅れている。スタッフの能力の差、使命感の差があり過ぎ。連合町会以外の民意をどう吸収、聞き、反映されていないままの運営にメスを入れるのが第一の主要業務と思う。まちセンだけに限界がある。地活協トップの意識革命、業務の優先順位意識の欠如も問題。この地域はガラパゴス化しているのでまちセンが普通の状態に再生するパワーをお願いしたい。
- わが地域は連合町会への加入が少ないため、いろいろな情報や広報等、地域全体にいきわたっていないので、地域全体に情報等共有ができるような支援がほしい。
- NPO法人町会は、地域で別途扱いされている。
- 地活協を一旦解散を求める。以前のように社協を中心に望みます。
- 老人クラブは地域活動協議会の構成団体に入っているが、地域活動協議会から参画の要請が全くないので、まちづくりセンターの支援状況が全くわからないので、ほとんど意思表示ができない。(地域に老人クラブは当クラブしかない)
- まちづくりセンターの機能をコミュニティ協会に置くことにより、より一層活発化するのではないか。
- 年に2回ぐらい地活協全体の会議があっても良い。是非実施してほしい。
- 学校負担はなくしていくべきである。地域の活性化は行政(区)中心に進めるべきである。
- これからも活動していただきたい。
- 会長や相談役、会長の妻が会計をしているところがある。広報などで支援してもらいたい。(収支がわからなくて困る。会計は別にいるがまかせきりのため)
- 使った金額の25%と残金の返金を25%達していなければならないとなっているが、100万円使った場合、75万補助、あとは地域でもつというのわかるが、25%カットをなくしてほしい。残金は無駄遣いしなければならないようになっている。
- 現在青少年指導員会には各地区に活動助成金が支給されているが、現状青少年福祉委員会には地区助成金が無い状況。現在指導員より福祉委員(50歳以上)の人数が多い。各地区青少年福祉委員会にも青少年指導員会と同様に補助金(助成金)は支給できないものか。
- まちづくりの要望などがもっと皆様にわかりやすくすべきではないか。市民はわかっていないように思う。
- どんどん地域に入っていただき、地域役員に伝えてほしい。
- 当地域は今、通学路について苦悩している。相談内容がまちづくり協働課とは異なると思う。
- 引き続き、「力」を借りたい。
- 継続してほしい。
- 各地区の地域活動協議会を統一してほしい。
- 地域振興会と地域活動協議会のあり方を明確に。協働連携等の問題点あり。
- 各役所人材が自発的に動いている。地域以外の人のみになっている。
- 1人で何役もついている。(例)体育厚生協会、公園の担当、小中学校のボランティア、老人会、小学校見守り隊、人権啓発員等。他の地域はどうかかわからないが、何役もついているのが実態。